

サービス付き高齢者向け住宅の現状と分析

（平成25年8月末時点）

サービス付き高齢者向け住宅事業を行う者

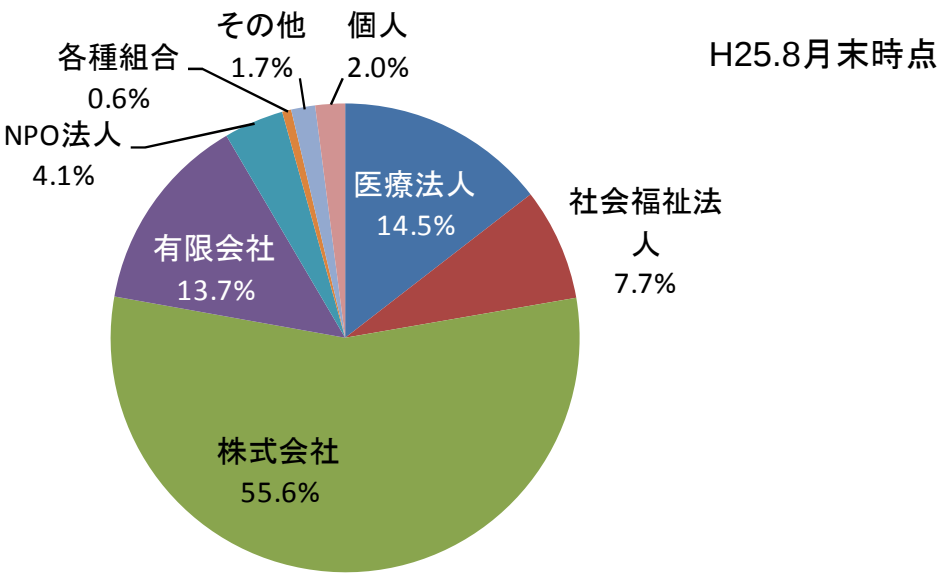
- ・法人等種別では、株式会社(55.6%)、医療法人(14.5%)、有限会社(13.7%)、社会福祉法人(7.7%)で全体の9割を占める。
- ・主な業種としては、介護系事業者が6割強を占め、次いで医療系事業者(16.2%)、不動産業者(8.9%)となっている。

■法人等種別

有効回答数:3,774件

	実数	割合
医療法人	548	14.5%
社会福祉法人	292	7.7%
株式会社	2,097	55.6%
有限会社	518	13.7%
NPO法人	156	4.1%
各種組合	23	0.6%
その他	63	1.7%
個人	77	2.0%

※その他は、一般社団法人、合同会社等。

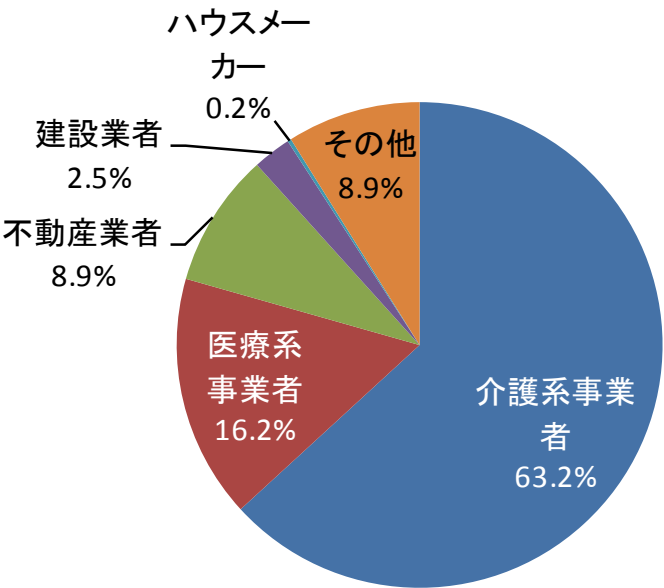


■主な業種

有効回答数:3,697件

	実数	割合
介護系事業者	2,336	63.2%
医療系事業者	599	16.2%
不動産業者	330	8.9%
建設業者	94	2.5%
ハウスメーカー	9	0.2%
その他	329	8.9%

※その他は、警備会社、農協・生協、電気設備会社等。



サービス付き高齢者向け住宅の戸数、住戸面積

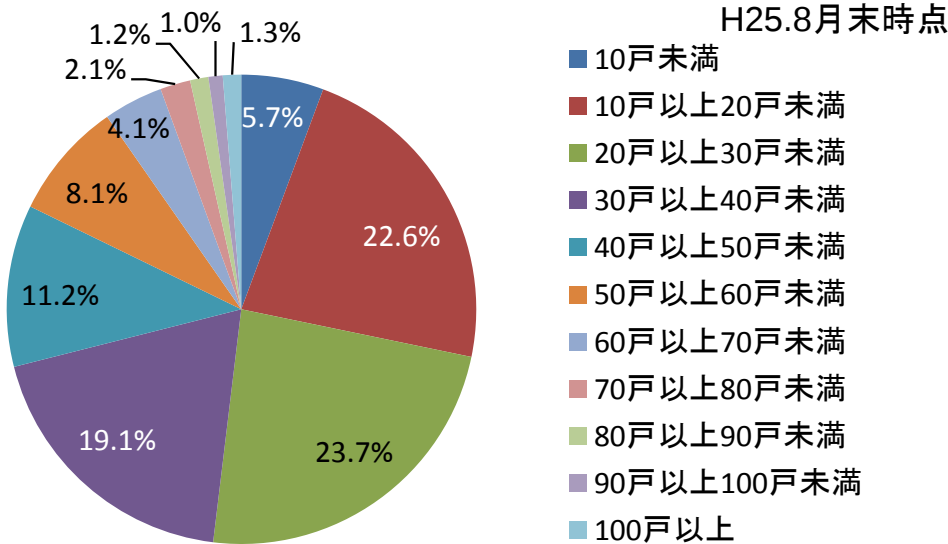
- ・住宅戸数では、「10戸以上20戸未満(22.6%)」「20戸以上30戸未満(23.7%)」が多く、全体の8割以上が50戸未満である。
- ・専用部分の床面積は、25㎡未満が7割以上を占める。

■住宅戸数

有効回答数:3,765件

	実数	割合
10戸未満	213	5.7%
10戸以上20戸未満	851	22.6%
20戸以上30戸未満	891	23.7%
30戸以上40戸未満	720	19.1%
40戸以上50戸未満	420	11.2%
50戸以上60戸未満	305	8.1%
60戸以上70戸未満	154	4.1%
70戸以上80戸未満	79	2.1%
80戸以上90戸未満	47	1.2%
90戸以上100戸未満	37	1.0%
100戸以上	48	1.3%

平均:32.4戸



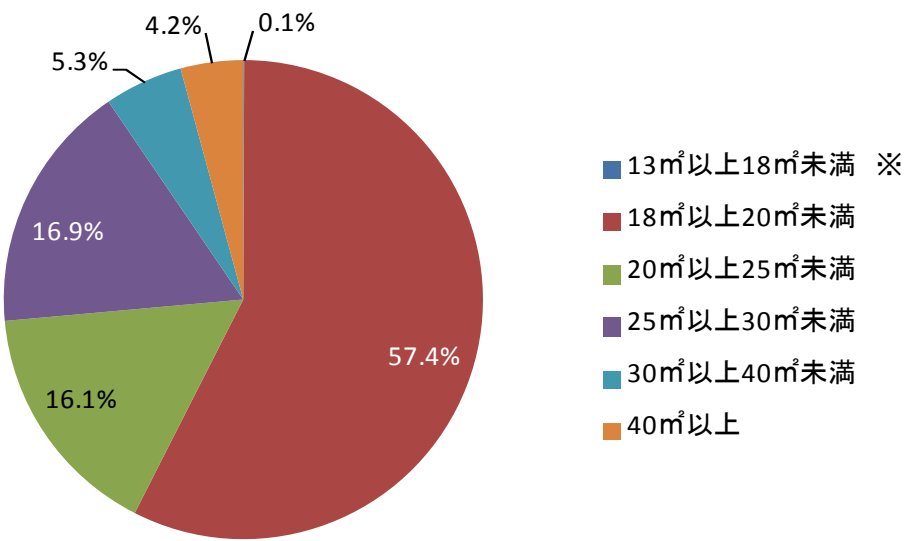
■専用部分の床面積

有効回答数:122,086戸

	実数	割合
13㎡以上18㎡未満 ※	79	0.1%
18㎡以上20㎡未満	70,109	57.4%
20㎡以上25㎡未満	19,631	16.1%
25㎡以上30㎡未満	20,652	16.9%
30㎡以上40㎡未満	6,468	5.3%
40㎡以上	5,147	4.2%

※高齢者居住安定確保計画に基づき登録基準を緩和したもの。

平均:22.4㎡



サービス付き高齢者向け住宅において提供されるサービス

- ・状況把握・生活相談サービス以外に、95.0%の物件において「食事の提供サービス」が提供される。
- ・入浴等の介護サービス、調理等の家事サービス、健康の維持増進サービスについては、概ね半数程度の物件において提供される。
- ・状況把握・生活相談サービスのみを提供する物件は、143件(3.8%)である。

H25.8月末時点

有効回答数:3,765件

	提供する		提供しない	
	実数	割合	実数	割合
状況把握・生活相談サービス	3,765	100.0%	－	－
食事の提供サービス	3,575	95.0%	190	5.0%
入浴等の介護サービス	1,854	49.2%	1,911	50.8%
調理等の家事サービス	1,942	51.6%	1,823	48.4%
健康の維持増進サービス	2,270	60.3%	1,495	39.7%

※ 併設施設等からサービスが提供されているケースが含まれている場合がある。

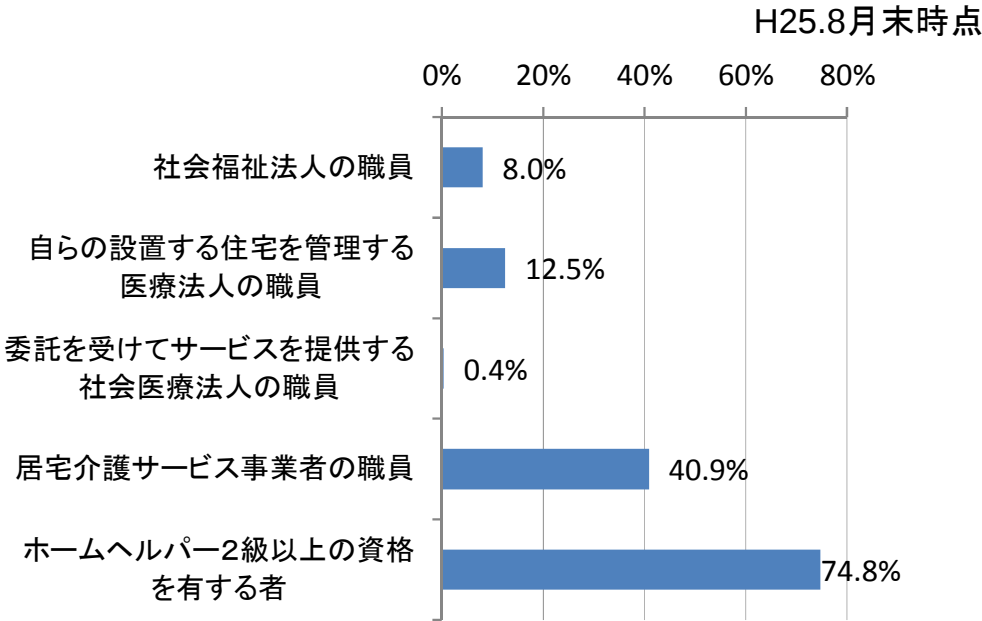
状況把握・生活相談サービス

- ・常駐する者は、ホームヘルパー2級以上の資格を有する者(74.8%)が最も多く、次いで居宅介護サービス事業者の職員(40.9%)が多い。
- ・状況把握及び生活相談サービスの提供時間は、24時間常駐が約3/4を占める。

■常駐する者

有効回答数:5,143件(複数回答)
(割合は、対象物件数3,765件を母数に算出)

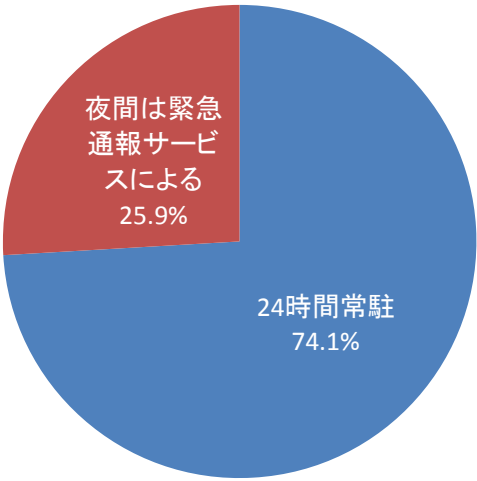
	実数	割合
社会福祉法人の職員	303	8.0%
自らの設置する住宅を管理する医療法人の職員	471	12.5%
委託を受けてサービスを提供する社会医療法人の職員	15	0.4%
居宅介護サービス事業者の職員	1,539	40.9%
ホームヘルパー2級以上の資格を有する者	2,815	74.8%



■提供時間

有効回答数:3,781件

	実数	割合
24時間常駐	2,801	74.1%
夜間は緊急通報サービスによる	980	25.9%



サービス付き高齢者向け住宅と併設される高齢者居宅生活支援事業を行う施設

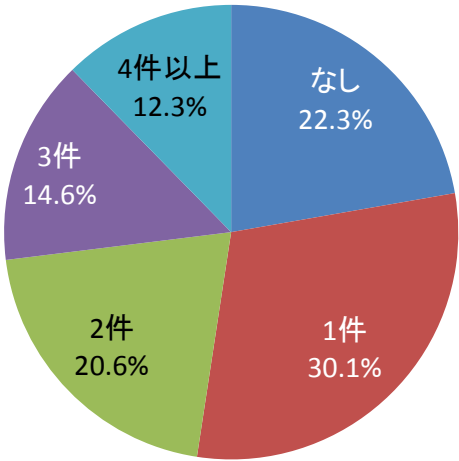
- ・全体の約8割が併設施設を有している。
- ・併設施設の種類は、通所介護事業所(50.0%)、訪問介護事業所(42.0%)、居宅介護支援事業所(29.9%)が多い。

H25.8月末時点

■併設施設の有無

有効回答数:3,765件

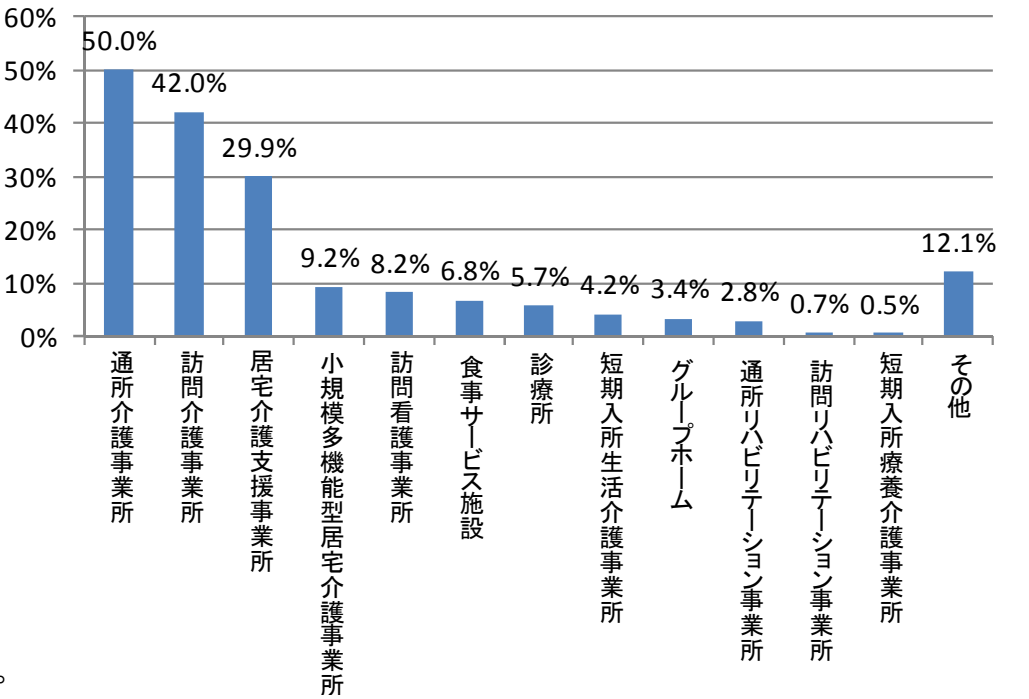
	実数	割合
なし	838	22.3%
1件	1,135	30.1%
2件	777	20.6%
3件	551	14.6%
4件以上	464	12.3%



■併設施設の種類

有効回答数:6,615件(複数回答)
(割合は、対象物件数3,765件を母数に算出)

	実数	割合
通所介護事業所	1,883	50.0%
訪問介護事業所	1,582	42.0%
居宅介護支援事業所	1,125	29.9%
小規模多機能型居宅介護事業所	348	9.2%
訪問看護事業所	310	8.2%
食事サービス施設	255	6.8%
診療所	215	5.7%
短期入所生活介護事業所	160	4.2%
グループホーム	128	3.4%
通所リハビリテーション事業所	107	2.8%
訪問リハビリテーション事業所	25	0.7%
短期入所療養介護事業所	20	0.5%
その他	457	12.1%



※その他には、介護保険三施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、病院等を含む。